



2023年5月12日

各位

会社名 ホッカンホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 池田 孝資  
(コード番号：5902 東証プライム, 札証)  
問合せ先 取締役執行役員 武田 卓也  
(TEL 03-5203-2680)

### 配当政策および剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2023年5月12日開催の取締役会において、下記のとおり配当政策を定めるとともに、これに基づき2023年3月31日を基準日とする剰余金の配当をおこなうことを決議いたしましたので、お知らせいたします。なお、当社は取締役会決議により剰余金の配当をおこなうことができる旨を定款に定めております。

#### 記

##### 1. 配当政策について

当社グループは、2022年度から2026年度までの中期経営計画（VENTURE-5）の期間前半においては、エネルギー価格高騰等の外部環境悪化の影響を受けて業績が落ち込む予想ですが、期間後半においては、容器事業および充填事業での着実な施策実行や容器事業における飲料缶事業の廃止、海外事業の成長等の効果により、自己資本利益率（ROE）が5%を超え、投資者の期待リターンである株主資本コストを上回る計画です。

株式関係指標につきましては、当社は長らく株価が1株当たり純資産額を下回る状況が続いており（2022年度末時点のPBR0.33倍）、プライム市場所属の金属製品31社の単純平均PBR0.6倍（2023年3月東証統計資料）を大きく下回っておりますことから、早期に改善を図る必要があるものと認識しています。VENTURE-5の進捗により業績が改善すれば株価の上昇が期待されますが、当社といたしましてはさらなる株主価値の向上を図るため、株主還元に注力してまいります。

具体的には、VENTURE-5期間に係る剰余金の配当については、次の考え方により実施することといたします。

#### VENTURE-5 期間中の配当政策

連結配当性向 35%以上、かつ 1株当たり年間配当金 45円以上

s

上記のとおり、外部環境の悪化の影響を受けて、市場の期待にお応えすることのできる段階にまで業績が回復するには時間を要する見通しですが、配当金に下限を設けることにより安心して株式を継続保有していただきながら、VENTURE-5を必達することでまずは2024年度に増配の実現、さらに2026年度には年間配当額100円以上を目指し、株価の向上につなげてまいります。

## 2. 剰余金の配当（期末配当）の内容

前記の考え方に基づき、当社は、2023年3月期（2022年度）の期末配当金を1株当たり22円といたします。既に2022年12月9日に実施済みの中間配当金23円と合わせまして、年間配当金は1株当たり45円となります。

	決定額	直近の配当予想 (2022年5月12日公表)	前期実績 (2022年3月期)
基準日	2023年3月31日	同左	2022年3月31日
1株当たり配当金	22円	22円	22円
配当の総額	277百万円	—	277百万円
効力発生日	2023年6月7日	—	2022年6月8日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

### (参考) 年間配当金の内訳

基準日	1株当たり配当金（円）		
	中間期末	期末	年間
当期実績 (2023年3月期)	23円	22円	45円
前期実績 (2022年3月期)	23円	22円	45円

以 上